

「ふれあいの里山」 復活大作戦



日時	2015年8月8日(土) 9時00分～ 12時00分(午前中のみ活動)
場所	金ヶ崎公園
参加者	市民自然図鑑案内人(明石市内の学校の先生)/2名 エコウイング会員/4名 計 6名

● 午前

今日は、朝から夏空が広がり気温も上がって(明石の最高気温:約32℃)厳しい暑さの中での活動になりました。その猛暑に加え、明石高専の学生さんたちは期末試験のため参加できないこともあり、今日の参加者は「あかし市民自然図鑑/昆虫編」の案内人の先生2名と、エコウイング会員4名の合計6名だけの少々寂しい活動でした。

午前中は、参加者全員で公園内のコースを巡って市民図鑑の昆虫観察をしました。高い気温の中でしたが、チョウやハチ、セミなどのなかまが色々と姿を見せてくれました。

● 午後

午後は、活動可能なメンバーが2名だけと少なかったこと、暑さの中での作業による熱中症の恐れもあったことから、活動は中止として昼食後に解散し帰路につきました。

昆虫観察の様子(その1)



昆虫観察の様子(その2)



昆虫観察の様子(その3)



昆虫観察の様子(その4)



- 次の活動は、9月5日(土)の朝9時から、いつものとおり午前中は市民自然図鑑の昆虫観察、午後は里山整備活動の予定です。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日の観察会で撮影した昆虫などを紹介します。真夏の金ヶ崎公園は、クマゼミやアブラゼミ、ミンミンゼミ、ニイニゼミなどの「蝉しぐれ」がうるさいほどでした。猛暑の中でしたが、夏の終わりを告げるツクツクボウシが、早くも鳴き始めていました。

そのほかに、トンボやチョウ、ハチ、コウチュウなどのなかまを色々と観察しました。

クマゼミ



アブラゼミ



ミンミンゼミ



ニイニゼミ



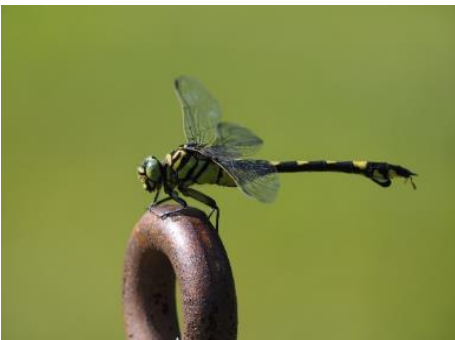
ツクツクボウシ



セミのなる木？(11匹のセミがいる)



ウチワヤンマ



シオカラトンボ(オス)



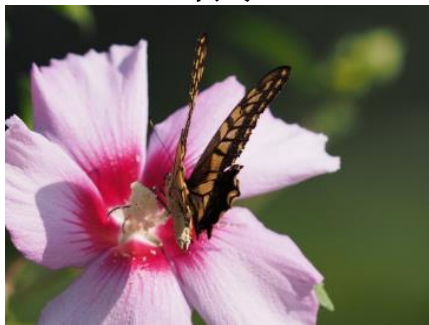
オオシオカラトンボ(メス)



アサマイチモンジ



キアゲハ



コミスジ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

カエルの死骸に止まるウラギンシジミ



ヒメジャノメ



ルリタテハ



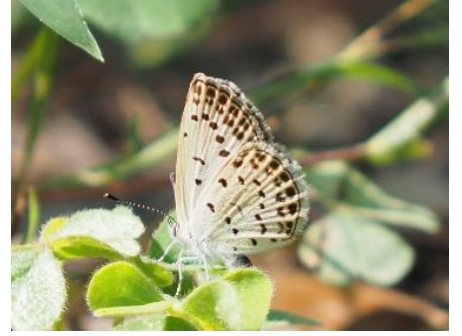
イチモンジセセリ



アケビコノハ



ヤマトシジミ



エントツドロバチ



ムモントックリバチ



シオヤムシヒキ



スジボソフトハナバチ



キボシトックリバチ(左)とミカドトックリバチ(右)の巣



虫の死骸に集まるサンガメのなかまの幼虫



オオナガコメツキ



ゾウムシのなかま



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その3)

真夏の金ヶ崎公園は、もともと野鳥の種類が少ないうえ、木々の葉が茂り鳥の観察が難しいのですが、それでもカワセミやコゲラ、キジバト、ヒヨドリ、ホオジロなどが姿を見せました。ふもとの北浦池では、アオサギや夏羽のマガモ(アヒル化している?)も観察しました。

その他の生き物では、トノサマガエルやヤモリ、カナヘビ、トカゲなどが姿を見せました。

カワセミ



コゲラ



キジバト



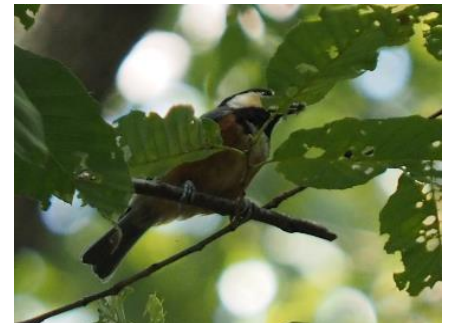
ヒヨドリ



ホオジロ



ヤマガラ



アオサギ



夏羽のマガモ



ハクセキレイ



メジロ



ムクドリ



トノサマガエル



トカゲ



ヤモリ

